

(終了しました)令和3年度企画展「病と医療」

更新日：2024年4月1日

今回の企画展は「病と医療」がテーマです

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、博物館も休館など大きな影響を受けましたが、その間にも館蔵資料を整理し、公開する準備を進めてきました。

今回の企画展はその成果として、館蔵資料の中から病気や医療に関するものを集めてみました。江戸時代や明治時代の袖ヶ浦人が、疫病の恐怖とどのように戦い、勝利したのか、資料から読み取るリアルをご覧ください。

令和3年度企画展 I

病と医療

5月1日(土)～
7月4日(日)

入場無料

コレラ、はしか、天然痘…
人びとの病気とのたたかいの
歴史をご覧ください

展示解説会

- ①5月23日(日)
 - ②6月19日(土)
 - ③7月4日(日)
- 各回11:00～

袖ヶ浦市郷土博物館

千葉県袖ヶ浦市下新田1133 (袖ヶ浦公園内)

電話0438-63-0811 FAX0438-63-3693

コレラ、痘瘡、麻疹、流行性感冒、チフス、ジフテリア・・・ 江戸・明治・大正時代の人びとは、病気にどう立ち向かったのか

I 疫病流行 頓死同様流行病おびただしき!

- 1 幕末～明治のコレラ流行
- 2 軽く済ませて! 痘瘡・麻疹
- 3 痘瘡・チフス・流行性感冒・・・襲いかかる感染症の恐怖
コレラをはじめ、痘瘡(天然痘)・麻疹(はしか)、赤痢・チフス・ジフテリア・流行性感冒など、かかれば激しい症状で、命を奪う感染症は、人びとにとって恐怖でしかありませんでした。現代のような医学の知識もなく、情報を入手する手段も限られていた当時の人びとの感染症対策の実態をご覧ください。



麻疹手当の事
文久2年(1862)
個人蔵
(本館寄託)

II 病氣とたたかう あれやこれ 温泉・漢方・神だのみ

- 1 いろいろな病氣
- 2 湯治 温泉の効能と転地療養
- 3 漢方薬あらかると
- 4 最後はやっぱり神だのみ
感染症だけでなく、さまざまな病氣が人びとを悩ませてきました。感染症のように急激に悪化し命を奪われるようなことはなくても、長く同じ症状で苦しむ慢性の病氣も大変つらいものです。ここでは、病氣のいろいろと神仏への祈りも含めた昔ながらの対策を紹介します。



(腫物図)
江戸時代
個人蔵
(本館寄託)

III 近代医療の夜明けと病院建設

- 1 痘瘡よさらば種痘の普及
- 2 病院を建てろ! ①隔離病舎の建設 ②地域医療の確立
- 3 村のお医者さんたち
海外から医学の情報がもたらされるようになると、感染症予防や衛生について、人びとの考えも変わっていききました。千葉県では、開明的と言われた柴原和泉令の下で積極的な衛生行政が実施され、痘瘡の予防法である種痘も普及し、近代的な医療・衛生の制度が整備されていきます。地域の医療が変わっていく、激動の歴史のワンシーンを覗いてみてください。

IV 養生、そして健康へ 衛生・予防・栄養学の普及

- 1 「衛生」の普及
- 2 予防と予防接種
- 3 たべてよき物 栄養と健康
幕末～明治のコレラ流行の中で人びとに「衛生」の概念が生まれ、生活環境を清潔にすることが伝染病の予防になると理解されるようになりました。さらに、予防薬の開発や食事の栄養についての知識も浸透し、近代以前に比べ、人びとの健康状態は各段に向上しました。現代の私たちも共感できる、少し昔の人びとの健康への願いや努力が伝わります。

関連講座

「近代における千葉県と疫病 —千葉県文書館の企画展から—」

講師 豊川 公裕 氏(千葉県文書館)
日時 6月12日(土) 13:30～15:00
会場 根形公民館 2階 視聴覚室
参加費 無料
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、延期・中止となる場合があります。

開催期間中の利用案内

- ★開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- ★休館日 月曜日・祝日の翌日
(ゴールデンウィークは開館し、5月6日(木)休館)

アクセス

JR 内房線 袖ヶ浦駅 から日東バス②乗場 平川行政センター・のぞみ野バスターミナル行「袖ヶ浦公園」下車
※土・日・祝日は東京ドイツ村行、
東関東自動車道館山線 姉崎袖ヶ浦 IC から約20分
アクアライン連絡道 袖ヶ浦 IC から約15分

開催のご案内

開催日

令和3年5月1日(土曜日) から令和3年7月4日(日曜日) まで

開催時間

午前9時から午後5時まで

休館日

毎週月曜日・祝日の翌日

5月1日（土曜日）から5月5日（水曜日）は開館し、5月6日（木曜日）が休館となります。

開催場所

郷土博物館2階特別展示室

入館料

無料

展示内容

1 疫病流行 「頓死同様流行病おびただしき！」

コレラをはじめ、疱瘡（天然痘）・麻疹（はしか）、赤痢・チフス・ジフテリア・流行性感冒などかかれば激しい症状で、命も奪う感染症は、人びとにとって恐怖でしかありませんでした。現代のような医学の知識もなく、情報を入手する手段も限られていた当時の人びとの感染症対策の実際をご覧ください。

2 病気とたたかう、あれやこれ 温泉・漢方・神だのみ！

感染症だけでなく、さまざまな病気が人びとを悩ませてきました。感染症のように急激に悪化し命を奪われるようなことはなくても、長く同じ症状で苦しむ慢性の病気も大変つらいものです。ここでは、病気のいろいろと神仏への祈りも含めた昔ながらの対策を紹介します。

3 近代医療の夜明けと病院建設

海外から医学の情報がもたらされるようになると、感染症予防や衛生について、人びとの考えも変わっていきました。千葉県では、開明的と言われた柴原和県令の下で積極的な衛生行政が実施され、疱瘡の予防法である種痘も普及し、近代的な医療・衛生の制度が整備されていきます。地域の医療が変わっていく、激動の歴史のワンシーンを覗いてみてください。

4 養生、そして健康へ 衛生・予防・栄養学の普及

幕末～明治のコレラ流行の中で人びとに「衛生」の概念が生まれ、生活環境を清潔にすることが伝染病の予防になると理解されるようになりました。さらに、予防薬の開発や食事の栄養

についての知識も浸透し、近代以前に比べ、人びとの健康状態は各段に向上しました。現代の私たちも共感できる、少し昔の人びとの健康への願いや努力が伝わります。

関連事業のご案内

企画展に関連して、下記の事業を開催します。なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、延期や中止となる場合がありますので、予めご了承ください。

展示解説会

開催日時

5月23日（日曜日）、6月19日（土曜日）、7月4日（日曜日） いずれも午前11時から

開催場所

郷土博物館2階特別展示室

参加費

無料

申し込み方法

事前の申し込みはありません。直接会場へお集まりください。

関連講座「近代における千葉県の疫病 ―千葉県文書館の企画展から―」

講師

豊川 公裕 氏（千葉県文書館 県史・古文書課）

開催日時

令和3年6月12日（土曜日） 午後1時30分～午後3時

開催場所

根形公民館2階視聴覚室

定員

25名

参加費

無料

申し込み方法

電話または窓口でお申し込みください。

電話：0438-63-0811 受付時間午前9時から午後5時まで

詳細はこちらをご覧ください

[企画展「病と医療」チラシ \[PDFファイル/461KB\]](#)

このページに関するお問い合わせ

[郷土博物館](#) 担当

〒299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田1133番地 電話：0438-63-0811 ファクス：0438-63-3693 [お問い合わせはこちらから](#)

重要なお知らせ

一覧

[台風9号（クローサ）に関する注意喚起（2025年7月31日）](#)

[避難所の閉鎖について（2025年7月30日）](#)

見つからないときは

よくある質問と回答